



10000000 hitohachi project

みんなの FUJISAN 地球フェスタ WA 2023 富士山・東京発 世界平和

1000万人の稲づくりー金

from chidama festa with you



稲作漁労文化を知っていますか？

日本は古来より「自然と人と人々が和して共に生きる」持続型・共生型の稲作漁労文化を築いてまいりました。

今、世界には根強い対立と深い悲しみの中に暮らす人々があります。気象の異常も日常化しています。今こそ、稲作漁労文化の理念が重要になってくるのではないのでしょうか。

稲作を通じて親子で学べる場を

当会事業の根幹は、日本の伝統文化の源流である「稲作」にあります。

毎年、お田植え祭・収穫祭を開催し、日本古来の自然と共に生きる生き方、そして田んぼがもたらす恵みと役割について親子で学び、体験できる場になるよう取り組んでまいりました。また行事には各国の駐日大使館より大使・ご家族、職員の皆様にもご参加いただき、国や民族、文化の垣根を超えて活動しております。

世界平和人道支援のため玄米を世界へ届けています

そうして実った玄米が「玄米粉」になり、世界平和人道支援としてウクライナへ届けられております。

つきましては、一鉢でできたお米の半分を、世界平和人道支援のためにご寄付いただけますと幸いです。皆様よりお寄せいただきましたお米は、玄米粉に加工して、支援を必要とする世界中の方々へお届けさせていただきます。

自然の豊かさ、自然と人の絆を象徴するお米づくりを通して、「自然と人と人々が和して共に生きる」生き方について考え、行動するきっかけになればと願っております。

1000万人の達成を目指して

一鉢運動は、昨年、参加者100万人を突破しました。ご家庭や地域の公共施設、学校・幼稚園、イベントなど様々な場所で参加していただいております。

大きな田んぼでなくても、まずは一つのバケツから。次は1000万人を目指し、より多くの方にこの活動を通して、日本古来の文化に触れていただき、そこから世界へ平和の輪が広がることを目標としております。

簡単！バケツ稲の育て方

- ① 種籾を水にひたして、白い芽が少し出るまで待つ。
- ② バケツに土を入れ、水をよくまぜます。
種籾を4粒一か所にまいて土をかぶせ、種まき完了。
- ③ 葉が増えて苗が成長します。(分けつ)
- ④ 稲穂が黄金色になったら収穫です。
- ⑤ 刈り取ったら根本をしばり、穂を下にして干します。(10日ほど)
- ⑥ 干せたら茶碗の中に穂を入れて引っ張り、脱穀します。



バケツ稲づくりマニュアル (PDF)



ふむふむ〜。意外とできるかも？



1 皆さまの一鉢お田んぼ 成長記録を大募集！

① 育てている稲のお写真や動画

② 育ててみてのご感想

を、一鉢運動 Instagram の DM にお送りください。どしどし投稿お待ちしております！

※お寄せいただいた情報は、地球フェスタ公式 HP や各種 SNS でご紹介させていただきます。



一鉢運動 Instagram



紹介ページ

2 世界平和人道支援へ、育てられたお米（半分）のご寄付をお待ちしております

ご自宅で育てられたお米の半分の、世界平和人道支援にご寄付いただけますと幸いです。お送りいただいた玄米は玄米粉に加工し、支援を必要とする世界の人々へお届けさせていただきます。(できたお米は脱穀後、種籾の状態でお送り下さい！)



種籾



お米のご寄付 送付先

〒403-0022
山梨県南都留郡西桂町小沼 1598-1
FUJISAN 地球フェスタ WA 実行委員会 宛



お待ちしております！



地球フェスタ HP

【お問い合わせ】 E-mail: festa@chidama.net

【主催】 FUJISAN 地球フェスタ WA 実行委員会

【後援】 外務省 / 文部科学省 / 農林水産省 / 環境省 / 豊島区 / 稲城市

【協賛】 秋月農園 / うまかもん農園 / 和醸岩本園 / 他 【協力】 有限会社 地球